

八戸圏域が国交省「交通関係優良団体大臣表彰」を受賞

Will Smart×KCS、ICカードデータを活用したEBPMで地域交通を再設計

「移動」を支えるテクノロジー企業として地域交通インフラの課題解決に取り組む株式会社 Will Smart（東京都江東区 代表取締役社長：石井康弘、以下 Will Smart）と、持続可能な地域公共交通の実現に向けたコンサルティング事業を展開する株式会社ケー・シー・エス（東京都文京区 代表取締役社長：宇野昭弘、以下 KCS）が八戸圏域において支援した地域交通の取り組みが、国土交通省「令和7年交通関係優良団体大臣表彰（地域公共交通部門）」を受賞しました。

本表彰では、バス IC カード乗車データの可視化・分析を活用し、路線再編の議論と合意形成をデータに基づいて推進した点が評価されました。両社は本取り組みにおいて、IC カードの可視化・分析基盤の提供を通じ、地域公共交通の EBPM（証拠に基づく政策立案）を支援しました。



(データ可視化画面イメージ ①バス停別利用状況、②時間別利用状況、③支払金種、④運賃区界、⑤区間別社内乗車人員、⑥日付別利用状況などが閲覧可能)



■受賞した功績

国土交通省の発表による受賞の功績は、以下の通りです。

「バス事業者と覚書を締結し、協議会の求めに応じてデータが提供される仕組みを構築するとともに、『バス IC カード可視化・分析システム』の導入により、多様なデータを可視化・分析し、路線再編等に関する議論の迅速化や精度の向上を実現するなど、地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ」

■支援内容と効果

八戸圏域では、人口減少に伴う公共交通利用の低下やドライバー不足の深刻化が進む中、それらに対応した路線再編やダイヤ改正の検討のための正確かつ迅速なデータ分析が求められていました。Will Smart と KCS は、この課題に対し、EBPM を実現する仕組みづくりを支援しました。

2023 年 10 月、Will Smart が提供するデータ分析・可視化サービスを活用した「バス IC カード可視化・分析システム」の運用を開始。KCS が窓口となり、Will Smart が提供する Tableau（複雑なデータを収集・分析・可視化するソフトウェア）を用いたプラットフォームにより、バス IC カード利用データ、運行実績データ、乗客属性データを統合し、関係者が共通の指標で可視化・分析できる環境を整備しました。

本システムの導入により、従来は利用状況の把握に数ヶ月を要していたものが、関係者が揃う会議の場でリアルタイムにデータ確認・分析できるようになりました。その結果、路線再編の議論が大幅にスピードアップし、検討の精度も向上。赤字路線の見直しや小規模ニーズへの対応、運賃・運行回数などサービス水準の検討が、客観データに基づいて進められるようになりました。さらに、こうしたデータは、地域住民への丁寧な説明にも活用されています。

また同圏域では、地域連携 DMO「VISIT はちのへ」や商業施設等と連携した「八戸圏域 MaaS」の展開も進んでおり、交通と関連施策が連携したデータ活用に向けた検討・議論の推進を下支えしています。

■Will Smart と KCS の役割と支援体制

本プロジェクトでは、KCS がコンサルティング企業として窓口を担い、八戸市交通部様及び岩手県北自動車様との調整を担当しました。Will Smart は、データ分析・可視化の技術を提供し、バス IC カード利用データ、運行実績データ、乗客属性データの統合・分析・可視化機能を実装したプラットフォームを実装しました。

KCS を単一の窓口とする運用体制のもとで、Will Smart の先進的なデータ分析技術を活用することで、関係者の負担を抑えながら、スムーズかつ高品質なシステム導入を実現しています。

■今後の展開

八戸圏域の取組は、地方公共団体と交通事業者がデータを共有・活用し、EBPM を実践する国の推奨する仕組みを先行的に実装した事例です。現在、国において地域交通法の改正によるデータ提供ルールの制度化が検討されており、こうした動きに対応する形で、地方公共団体と交通事業者がより安心してデータを共有できる環境づくりが急務となっています。Will Smart と KCS は、八戸圏域での成功事例を全国に展開し、EBPM による持続可能な地域交通ネットワークの構築を支援していきます。

【参考】各社概要

株式会社 Will Smart とは

Will Smart は顧客企業との対話を通じて培った経験やノウハウ、最新のソリューションを活用し、モビリティ業界のお客さまとの共創による社会課題の解決に取り組んでいます。

特に、デジタル技術を活用した既存業務の無人化や自動化に強みを持ち、バスターミナルにおけるバスダイヤ統合表示システムの新規開発や EV カーシェアリング・無人レンタカー・ライドシェア等を実現する IoT 車載デバイスの提供、バス共同経営を支えるデータ分析基盤の構築など、幅広い分野での支援実績がございます。

詳しくは Will Smart の Web サイト(<https://willsmart.co.jp/>)をご覧ください。

会社概要

会 社 名：株式会社 Will Smart

代 表 者：代表取締役社長 石井康弘

設 立：2012 年 12 月 12 日

事業内容：モビリティ業界を中心とした事業課題解決に対して DX 技術を駆使したソリューションの企画・提案、ソフトウェアの受託開発と運用支援。

資 本 金：634 百万円（2025 年 12 月 31 日現在）

株式会社ケー・シー・エス（KCS）とは

KCS はコンサルティング領域を通じて、社会が直面する様々な課題、事象に対して、都市や道路、地域の公共交通、観光交通、そして防災・減災といった側面から、これまで蓄積してきた豊富な知見と時流を踏まえた柔軟で斬新なアイディアを提案することでクライアントのご要望に応える会社です。

詳しくは KCS の Web サイト (<https://www.kcsweb.co.jp/>) をご覧ください。

会社概要

会 社 名：株式会社ケー・シー・エス

代 表 者：代表取締役社長 宇野 昭弘

設 立：1969 年 9 月 1 日

事業内容：建設コンサルタント（モビリティ・道路・地域政策・観光）

資 本 金：900 百円（2025 年 12 月 31 日現在）

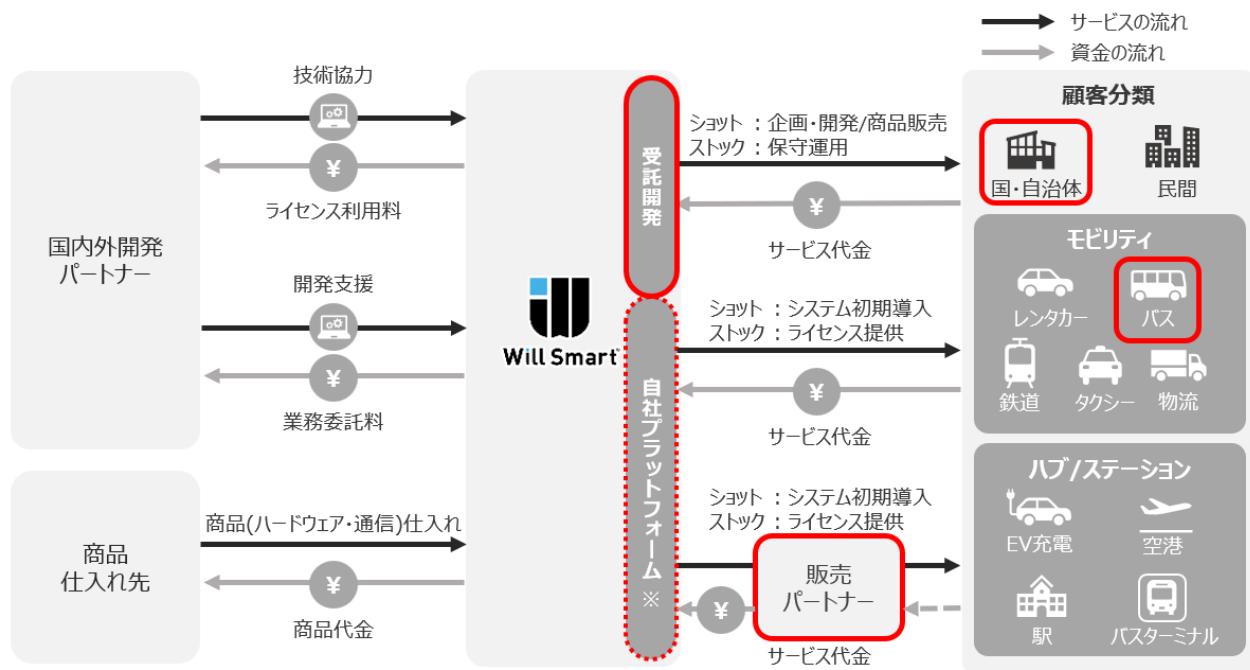
【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 Will Smart 広報担当

TEL:03-3527-2100 MAIL: pr@willsmart.co.jp

【補足説明資料】

本取り組みにおけるビジネスモデル上の位置づけ



※自社プラットフォームとは、当社の商品パッケージ群のこと。ハードウェアも含む。

本取り組みは、地方の移動困難課題をデジタル化で解決し、持続可能な地域交通インフラの実現を支援するものです。2025年9月発表の「中期ビジョン2030」における成長戦略を具現化した施策として、コンサルティング企業との協働により、EBPM支援を備えた課題解決を実行いたしました。本実証で得られたEBPM（証拠に基づく政策立案）支援の知見を活かし、自社プラットフォームの機能拡充を図るとともに、官民連携による安定的な成長モデルの実現を目指してまいります。